



チーム作並2018 重点目標・8つの教育プラン

児童の夢と希望を育む学校づくりを目指して

スローガンは「**チーム作並**」。地域、保護者、教職員が一丸となり、連携と協力を図りながら、教育活動のチームプレイを目指します。



作並小

平成30年度
協働型学校評価重点目標

「身近な地域の良さを理解し、
自信をもって表現する子供の育成」

学校

家庭

地域



新川分校

プラン1 「地域とともに歩む学校」を一層進めます。

「地域とともに歩む学校」は、学校づくりの基盤です。作並小は、地域における「自分たちの学校」として、地域や保護者の皆様と力を合わせて、『児童の夢と希望を育む学校づくり』を目指します。

- 保護者、町内会、老人クラブ、体育振興会、社会学級、温泉旅館組合等との一層の連携を図り、地域とともに歩む学校を推進します。
- 地域・保護者と連携し、「協働型学校評価」の推進を図ります。
- 保護者・地域ボランティアの協力体制の充実を図ります。読み聞かせボランティア、スキーボランティア等
- 地域との連携を図った特色ある地域行事を推進します。新川ほたるの里宵まつり、作並かっぱまつり、回文コンテスト、宮城西市民まつり、作並小学区盆踊り等の参加
- 地域の人々とかかわる学習を計画し、教室と地域をつなぎます。



プラン2 「確かな学力」の育成を図ります。

少人数のよさを生かした指導を通して、基礎学力と応用力の向上を目指します。

- ICTを活用した「学習意欲を高める授業」や「分かる授業」の実施
- 「読む」「話す」「聞く」「書く」の充実を図り、自分の考えや思いを、自分の言葉で伝える等の表現力や応用力の向上に努めます。
- 校内漢字検定、算数チャレンジ、算数力アップ教室を行います。
- 家庭学習カードを活用した家庭学習の充実と家庭学習ノートの活用

学習時間のめやす

1年生	10分以上
2年生	20分以上
3年生	30分以上
4年生	40分以上
5年生	50分以上
6年生	60分以上

奨励する学習内容

音読(全学年) 漢字、日記、計算、視写
 *低学年は、保護者の皆さんができるだけ一緒にみてあげてください。理解や定着の向上につながります。
 3～6年 家庭学習ノートの活用
 *漢字練習、計算練習、読書、日記など、自分で計画を立てて進められるようにします。

プラン3 「たくましい心・やさしい心」を育みます。

子供の自己肯定感を高め、困難なことにも負けない「たくましい心」と相手を思いやる「やさしい心」を育みます。

- 命を大切にできる心、思いやりの心、規範意識を育み、いじめなどの問題行動の未然防止に努めます。
- 心を磨くための道徳教育の充実に努めます。
- 自らを認め、自らを信じる力を涵養し、人や地域とのかかわりを大切にしながら自分づくり教育を推進します。
- 全校児童での活動やたてわり活動を通して、たくましさとやさしさを育みます。
- 元気なあいさつや礼儀を身に付けます。
- 福祉施設や保育所との交流を通して、やさしい心を育みます。



プラン4 「生活リズム形成と体力の向上」を目指します。

■「早寝・早起き・朝ごはん」を推進します。家庭と連携し、2か月に1回、1週間連続で生活習慣についての調査を行います。家族のかかわりが、子供の生活・学習に大きく影響します。子供が勉強や読書をしている時は、家族みんなで協力をお願いします。

- 自校給食における食習慣、運動習慣、生活習慣の指導充実に努めます。小学校6年間は、身体が著しく発達する時期です。生涯にわたる健康づくりの基礎となる重要な時期でもあります。子供たちの健康な生活に欠かせない、食習慣、運動習慣、生活習慣の指導の充実を図ります。
- PTA・社会学級等と連携し、親子食育講座を実施します。
- 運動の日常化を目指します。全校で「ランランタイム」や「ぴよんぴよんタイム」を実施します。



プラン5 「安心を創る防災教育の充実」を図ります。

災害発生時に、自分の命を守り、安全を確保する自助の力、災害の対応や地域の復興に協力し参画する共助の力を育みます。

- 地域防災訓練への参加
地域で年1回実施される防災訓練に参加し、自助の力、共助の力を実践を通して身に付けます。
- 防災学習の充実に努めます。
災害に関する正しい知識や防災対応力を身に付けるために、仙台版防災教育副読本を活用し、震災を学び、伝える授業の充実に努めます。
- 多様な訓練の計画的な実施
実践的な対応力を向上させるため、地域防災訓練の他、休み時間を想定した避難訓練、防犯訓練など計画的に実施します。



プラン6 「読書活動の充実」を図ります。

- 年間100冊を目指します。
- 読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせを計画的に行います。
- 金曜日の朝の読書タイムは、担任と一緒に読書をし、読書活動の質的向上と習慣化を図ります。
- ブックトークを実施します。
広瀬図書館と連携し、さらに読書の充実に努めます。
- 週末の家庭における読書活動を推進します。
- 新川分校において、土曜日に図書室を開放します。



プラン7 地域の自然と伝統を生かした「豊かな体験活動の充実」を図ります。

作並の自然の恵みや伝統を生かした体験活動の充実に努めます。子供たちが、作並・新川地域をより深く見つけ、自分たちの地域に誇りと愛着を感じるような学習活動を展開します。

- 自然体験の充実に努めます。
広瀬川・新川川での川遊び
鎌倉山登山、ヤマメの放流
- 雪を生かした活動を推進します。
スキー教室、そりすべり、雪と遊ぶ会
- ふるさと学習に取り組みます。
作並こけしの絵づけ体験
- 伝統的な食文化の創作体験
地域の方々のご支援をいただき、地元の食材を使った創作体験に取り組みます。



プラン8 かかわりを大切にした「交流活動の充実」を図ります。

- 小・中学校との連携を図った教育の充実に努めます。
・作並、大倉、上愛子の三校交流を全学年で実施
・野外活動やスチューデントシティー等へ合同参加
・3年生～5年生の合同校外学習
・6年生の広陵中学校授業体験
- たてわり活動の一層の充実に努めます。
オリエンテーリング、運動会、山びこ祭り、地域清掃、全校給食、雪と遊ぶ会
- 1年生スタートカリキュラムの実施。

